

金沢自然公園における保全活動

金沢動物園 野口忠孝

市の施策である「ヨコハマbプラン」や「横浜みどりアップ計画」、国の施策である「生物多様性保全上重要な里地里山」や「近郊緑地特別保全地区制度」において、生物多様性保全上、重要とされている円海山とその周辺の一体的な緑地帯内に、金沢自然公園は、位置しています。

近年、日本の生物多様性危機の原因の一つとして、里地里山などの手入れ不足があげられています。元来、里地里山であった場所に整備された金沢自然公園においても、樹林地の荒廃、竹林の拡大が各所で発生しています。生物多様性を回復させるため、里山環境の一体的な復元や整備が必要です。今回はその始まりとして、「金沢自然公園保全管理計画」に基づき、拡大した竹林を整備し、コナラクヌギを植樹しました。その結果、対象エリアに生育している植物種数も増加しました。今後、コナラクヌギ林が成長するに伴い、さらなる生物多様性の復元が期待されます。



管理した竹林